

(様式—1) 新潟国道事務所 技術研究発表会 (令和6年度)

1	表題(課題)名	「熱中症対策について」	
2	工事(業務)名	阿賀野バイパス15工区舗装その1工事	
3	受注者名	福田道路株式会社 新潟本店	
4	工期	令和6年3月15日 ~ 令和7年8月29日	
5	担当技術者(立場)名	現場代理人・監理技術者補佐	(くさま さとし) 草間 聡史
6	担当主任監督(調査)員	専門調査官	
7	課題区分名	⑥安全管理 (_____)	
8	工事(業務)概要	阿賀野バイパスにおける舗装工事である。	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	<p>近年現場で熱中症が多発しており十分な対策が必要である。 本工事は阿賀野バイパス舗装工事の1工区で施工延長が860mの区間であり施工が広範囲で且つ現場には日影が無く、夏季は炎天下の中での作業になるため、熱中症になるリスクが高く対策が必要であると考えた。</p>		
10	【実施内容】		
	<p>①現場休憩所の設置 現場に電気を引き込む所が無かった為、ソーラーパネル搭載式現場休憩所を設置し、冷房及び冷蔵庫を完備。熱中症グッズも常備し熱中症対策を実施した。 熱中症対策グッズの中に体の深部の温度上昇を抑える働きのあるアイススラリを備え対策した。</p> <p>②熱中症対策ウォッチの配布 熱中症対策ウォッチは体の深部温度の上昇を検知すると、振動機能とともに警告ランプが点灯し装着者に通知するバンドを現場従事者に配布した。</p> <p>③熱中症リスク判定AIカメラの活用 タブレットで顔を撮影し、顔の画像からその人のコンディションや気温などを加味した熱中症リスクを4段階の色分けから判定することが可能なAIカメラを導入した。</p>		
11	【実施結果】		
	<p>上記の対策により、現場での涼しい場所の確保ができ、こまめに休憩を取りやすい環境を整えた。また、対策グッズの一つであるアイススラリを朝礼後に配布、摂取させることで深部体温の上昇を抑制する事が出来たため、配布した熱中症対策ウォッチが反応する作業従事者が出ることがなかった。 熱中症リスク判定AIカメラで休憩に入るタイミングで撮影し判定して熱中症になるリスクを回避することができ、熱中症を防ぐことが出来た。</p>		

(様式—2)

【実施内容等】

①現場休憩所設置



②熱中症ウォッチの配布



③熱中症リスク判断AIカメラ

レンタルします! NETIS 登録番号 KT-240046-A

熱中症リスク判断AIカメラ
カオカラ

創業94年 最新研究 POLA×生体分析DUMSCOのスペシャリスト共同開発で生まれた熱中症予防判定カメラ。精度高く・手軽に・作業員全員を管理できます。

熱中症管理を変える3つの特徴

- 精度高い顔解析AI
- 簡単設置・運営
- 一元管理

外部環境・生体データで個人ごとに高精度判定をAIカメラが実行

タブレット起動し設置するだけでOK
判定撮影は最大3秒

取得情報は一元集約
いつでもどこでも管理画面でチェック

カオカラ クラウド

撮影時刻: 2024-08-01 15:41:14
表示する日付を選択
選択した日付からの表示範囲
当日のみ
過去7日
過去30日

判定結果の推移
棒グラフは判定結果の個人数、赤線はWBGTの月内最高値を示します。

判定結果詳細
撮影記録から1秒単位で検索されます。
表示する判定結果を絞り込む
判定結果: やや注意 注意 危険

表データをダウンロード

撮影時刻	WBGT	判定結果	顔写真
2024-08-08 15:41:14	30	やや注意	
2024-08-08 15:06:44	30	やや注意	
2024-08-08 15:06:22	30	ほぼ安全	
2024-08-08 15:06:08	30	やや注意	

4段階の色で判別→